



振り込めする木村勇室長＝県庁で

# 山保全にササ活用を

## あす王滝で シンポ 商品化の方策探る

広大な林野に自生するササの活用を考えるシンポジウムが二十九日午後一時から、王滝村公民館である。食品や寝具、建材などへの活用事例を紹介しながら、山の保全にもつながるササの商品化へ向けた方策を探る。誰でも参加でき、無料。

地元にも大量に生えているササを地域活性化に生かそうと、王滝村の特定非営利活動法人(NPO法人)自然科学研究所(小谷宗司理事長)と、環境保護の市民グループなどでつくる県クマザサ利用推進会議(長田好三郎会長、茅野市)が開く。

相次ぐ振り込め詐欺事件の捜査に集中して

「振り込め詐欺対策室」(室長・木村勇参事官)を新設、二十七日に発足式を開いた。専従と非専従の二十

の捜査に振り込め詐欺の被害者救済に専らおびき出す「だまされたふり作戦」を開始す

策室によって、さらに体制を強化する。

室長が「一丸となつて、振り込め詐欺を撲

6(235)2530へ。(妹尾聡太)

# 障害者の雇用増を

## 厚労省 県教委に是正勧告

障害者雇用促進法での障害者の雇用を促すことを求めているが、県教委は二〇〇八年末時点で1・76%だった。

勧告を受けなかった。合わせて二十一人宛に、長野労働局は県教委に、校舎のバリアフリー

一化や大学生へのPRも求めた。ろう障害者の選考時には手話通訳を付けるなど、障害に応じた配慮をしている。障害者に教員免許の取得をPRしたりする方針。(大平樹)

ササを混ぜたパンを作ったり、枕、壁材、染め物に利用している

下諏訪町や茅野市などの人たちが事例を発表する。発表者のパネル

ディスカッションや一般参加者との質疑応答もある。



苗木を植えた一帯の下草刈りをする人たち。斜面をササが覆つて昨年10月、王滝村の御岳山6合目で

同推進会議によると、ササはシンポで紹介する事例のほか、葉膳料理やそば、消臭剤などへの活用が進められている。一方で、山の保全には難敵。王滝村の御岳山でも、伐採跡地の森の再生のために村などが植えた苗木も、成長の早いササに覆われると成長が阻ま

れるため、年二―三回、ササ刈りを迫られている。自然科学研究所の小谷理事長は「お年寄りでも刈れるササをたくさん集めて少しでもお金に換え、地域の元気づくりができるようになればいい」と話している。シンポの問い合わせはクマザサ利用推進会議事務局へ電080(6938)1588へ。

手冊